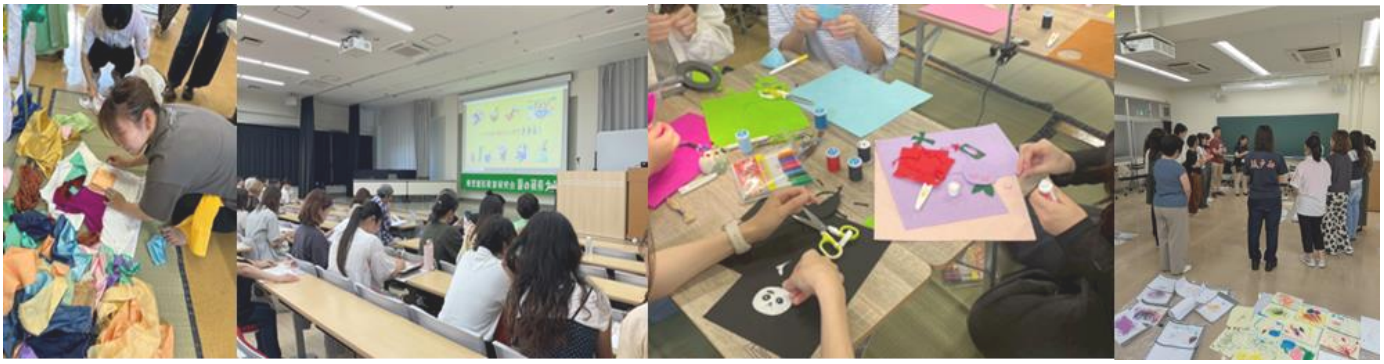

第 52 回　幼児造形教育研究会　夏の研修大会

子どもの遊び・生活・表現を再発見　partⅢ

～遊びに熱中する姿から子どもの育ちを考える　Ver.2～

幼児造形教育研究会会長 名達 英詔
第 52 回大会実行委員長 宮野　周

●日時　：2026 年 8 月 8 日（土）9:45～17:00（受付開始 9:20）
●方法　：対面・一部オンライン併用
●定員　：対面 100 名　オンライン 100 名

◆9:45～10:00　開会のあいさつ
◆10:00～12:00　実践発表＆トーク

実践発表　乳児「乳児期の生活と造形表現～保育における子どもの姿から～」

実践発表者：頌栄しらゆり保育園　乳児主任保育士　岡田麻奈先生
1 歳児グループリーダー　岩村奈津先生

子ども達が園生活に慣れていく中で、様々に表現される造形。絵の具遊び（感触遊び）を通して保育者や友達とかかわる様子や、子どもたちが主体的に取り組み、成長していく姿をその時々の写真を見ながら考えていきます。

幼児「幼児の生活と遊び~造形表現とのかかわり～」

実践発表者：南浦和幼稚園　副園長　今枝加奈子先生　他、3 名

幼児の日々の生活の中で、どのように造形表現について考えたらよいでしょうか。行事と造形表現とのかかわりや、これまでの園の保育と造形表現の取り組みから、みなさんと一緒に考えます。

トーク　「遊びに熱中する姿から子どもの育ちを考える partⅡ」

登壇者：名達 英詔（十文字学園女子大学、幼造研会長）

遊びに熱中する姿は多くの子どもが見せてくれるものです。であればこそ、そこには、そのように過ごさなければならない何か・・・必然があるでしょう。乳幼児期の子どもの姿を実践発表をもとに見つめ、造形表現という視点も取り入れながら、その必然と育ちについて考えます。

宮野 周(文教大学、幼造研副会長)

子どもが遊びに熱中できる環境とは、どのような環境でしょうか。実践発表を通して、子どもの育ちを支える保育者はどうしたらよいか、一緒に考えましょう。

池田 純子(敬愛短期大学)

乳児期は表現の基礎を培う時期です。生活や遊びの中でたくさんの表現の芽が現れます。実践発表を聞いて、皆さんと一緒に乳児期の造形表現について考えていきたいと思います。

◆13:00～14:30（90 分）　分科会

分科会 A「光」	分科会 B「絵の具」	分科会 C「土粘土」	分科会 D「保幼こ小連携」
探究的な遊びについて関心が広がっていますが、具体的に何をすれば？という戸惑いの声を現場の先生方から聞くことがあります。子どもだけでなく、大人も共に探究したくなる遊びの一例として光を材料に遊びを作ってみませんか。 講師：藤田　寿伸 （東京成徳大学准教授） 池田　純子 （敬愛短期大学准教授） 松島　若葉 （こどもの王国保育園西池袋園保育士） 真野　明子 （ひなぎく幼稚園教諭）	色が混ざる瞬間、筆が走る感触、予想外の形が生まれるよろこび―絵の具には、子どもの表現意欲を引き出す豊かな魅力があります。しかし「準備が大変」「片付けが…」と、なかなか保育の場に登場しにくいのも正直なところではないでしょうか。 分科会 B では、絵の具をテーマに、その子らしさの表現を引き出す環境のありかたをみなさんと一緒に探っていきます。道具のそろえ方、場の設定、関わり方のちょっとした工夫など、明日からの実践につながるヒントをワークを通して見つけていきましょう。 講師：石原　加奈子 （清心幼稚園教諭） 爪川　波菜 （谷戸幼稚園教諭）	土粘土は思わず夢中になれる素材です。触れた時の、冷たい、柔らかい、固いといった感じ方は人それぞれ。また、触れていくうちに感触が変化していく面白さもあります。土粘土に触れている時、子どもの中に何が生まれてくるでしょうか？実際に身体を動かしながら、空間を広く使って、土粘土の可能性を一緒に探ってみましょう！ 講師：海沼　恭史 （至誠館大学准教授） 塚岡　時子 （新松戸幼稚園教諭） 町山　瞳大 （慈紘保育園保育士）	幼保こ小のつながりは子どもも大人もより相応しく育ち合うチャンスです。昨年のさまざまな角度からの熱い語り合いに繋げて今年は更に広く、地域とのつながりやその仕組みなど、子どもを取り巻く社会がどのようにあるべきか、大人は何をすべきかといった視点も加え、造形表現の可能性を探り、実践への理解を深めていきたいと思います。 講師：名達　英詔 （十文字学園女子大学教授） 照沼　晃子 （関東学院大学教授） 伊藤　裕子 （谷戸幼稚園園長）

※お申し込みの際に、ご希望の分科会をお知らせください。

◆14:50~16:20（100 分）子どもの痕跡（足跡）から読み取る

幼児造形教育研究会スタッフ

※保育を語りあうために各園、ぜひ子どもの絵をお持ち寄り下さい。

（複数枚ご持参いただくか、できればクラス全員分をお持ちいただけますと幸いです）

※各教室に分かれて、グループごとに話し合っていく予定です。各教室は当日お伝えいたします。

◆16:30~17:00（30 分）　閉会のあいさつ

※各教室にて、閉会式を行います。

●参加費：対面参加 5,500 円（学生 3,000 円）、オンライン参加 1,000 円(学生 500 円)

※保育を語りあうために各園、ぜひ子どもの絵をお持ち寄り下さい。

※オンライン参加の方は、午前のプログラムのみとなります。

なお、当日プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

●申し込み方法 Peatix からお願いします（QR コードよりお申込み下さい）。

https://2026yozoken-natuken.peatix.com/view

@YOUZOKEN2026

幼児造形教育研究会ホームページ http://yozoken.g3.xrea.com/

主催：幼児造形教育研究会後援：（公財）教育美術振興会　協賛：（株）サクラクレパス